

「ネット社会と同和問題」

インターネット（以下、ネット）

上での差別書き込みが、同和問題を学んでいない人を差別者にしてしまうといった深刻な事件が続発しています。

パソコンや、スマートフォンの普及で、分からないことはすぐにネットで検索すれば解決する時代になりました。しかし、ネットの検索結果は、すべてが正しいとは限りません。たとえそれが間違った情報や偏見・差別につながる情報であっても、ネット上では、アクセス数が多い順に掲載されるので、物事を正しく知らないこと、間違った情報を信じ込んでしまうことになってしまいます。実際に、ネットに書かれていた情報を鵜呑みにして、子ども同士のいじ

め問題に発展したり、結婚が破談になったり、ほかにも身元調査など、ありとあらゆる深刻な人権侵害が発生しています。

「同和問題を教えるから差別がなくなるなら」と言われることがありますが、同和問題に関する正しい知識や情報をもたないことで予断や偏見に捉われてしまい、知らないうちに差別に加担してしまう可能性があります。

大事なことは、差別的な情報などをみても「それはおかしいだろう」、「それは違うよ」と自信を持って言えるかどうかです。そのためには、日ごろから人権のアンテナを張りめぐらせ、物事を正しく判断できる力をつけておきたいものです。

tomoniki

社会教育指導員 野中久美子

市交際費の支出状況

平成30年3月分

支出種別	区分	件数	金額(円)
弔慰	今月分 累計	0 49	0 161,400
見舞い	今月分 累計	1 3	10,000 30,000
御祝	今月分 累計	1 44	10,000 205,800
賛助	今月分 累計	0 2	0 9,000
激励金	今月分 累計	0 0	0 0
接遇	今月分 累計	1 18	3,560 111,892
会費	今月分 累計	3 58	9,500 233,000
その他	今月分 累計	0 3	0 10,200
合計	今月分 累計	6 177	33,060 761,292

◎くわしくは市のホームページに掲載しています。

問い合わせ

総務課 秘書係
☎75-2115

Message for citizen



市長コラム



市長 横尾 俊彦

多久に眠るお宝

今春の桜はきれいでした。強風も雨も少なく、満開で佇む姿が実に美しかった。開花期間がいつもより長い印象でした。名所のみならず、いろいろな場所、ご近所や自宅でも桜をめでた方も多いでしょう。

聖廟近くの三年山でもソメイヨシノ、八重の桜が咲きました。この三年山の地下には遺跡が眠っています。今年は文化庁と連携し、改めて多久の石器遺跡群の調査を始めます。調査は4～5年にわたると思います。

実は石器や考古学の分野で、「多久」はとても有名です。それのもそのはず、三年山や茶園原など周囲には石器文化遺跡群が残っています。広がり鬼の鼻山山麓一帯にわたり、その全容を明らかにするとともに、貴重な再発見に期待も膨らみます。石器の原産地遺跡としては、西日本最大級の遺跡になると考えられます。

そんな準備を進める一方で、

牟田部地区発掘調査で六世紀初頭の副葬品である馬具・武具が出土しました。ピンポン玉よりも大きな3つの青銅の球体が金具で繋がれた三環鈴。さらに同様なデザインの鈴杏葉も出ました。こちらは大人の指先大の5つの鈴型部品が繋がれていて、細かい文様も施されています。しかもどうやら大陸からの渡来品とのこと。一部に青銅で修理した跡も鮮明に見えます。修繕技術の工房もあったのでしょうか。

いずれの鈴も音色がします。驚きました。まさに一四〇〇年を超え再現される響きです。青銅の錆である緑青もあり、最初の完成時とは異なるかもしれないが、今この二一世紀に響く音色に感激しました。

今後、展示できるよう処理や対応を進め、皆様にもご披露できればと思います。

まさに歴史を深掘りしながら未来志向で発信に臨みます。